

事前評価調書

I 事業概要																			
事業名	農業農村整備事業（防災ダム事業）																		
地区名	ほらがいりいけ 洞ヶ入池地区																		
事業箇所	額田郡幸田町大字坂崎 ^{さかさき}																		
事業のあらまし	<p>本地区は額田郡幸田町の北部に位置しており、地域の重要なかんがい用水源であるとともに、防災重点農業用ため池に指定されており、本池が決壊した場合、農地農業用施設、住宅及び公共施設等に甚大な被害が生じる。</p> <p>このため洞ヶ入池の耐震診断を行ったところ、耐震性不足及び洪水吐の排水能力不足が確認されたため、本事業によって地震対策及び豪雨対策を行い、ため池決壊による洪水被害を未然に防止する。</p>																		
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>ため池決壊による被害を未然に防止し、農業生産の維持、農業経営の安定及び地域住民の暮らしの安全の確保を図る。</p> <p>（基準雨量：146.5mm/時間、既往最大雨量）</p>																		
事業費	事業費	内訳																	
	2.3億円	■工事費 2.1億円、■用補費 0.1億円、■その他 0.1億円																	
事業期間	採択予定年度	2023年度	着工予定年度	2024年度	完成予定年度	2027年度													
事業内容	洪水吐工、取水施設工、緊急放流工 各一式																		
II 評価																			
①事業の必要性	1) 必要性	<p>洞ヶ入池は、堤体の耐震性不足や洪水吐の流下能力不足により、地震時・豪雨時に決壊する恐れがある。</p> <p>このため、堤体・洪水吐等の改修や緊急放流施設の設置により、ため池の決壊を未然に防ぎ、農業生産の維持、農業経営の安定及び地域住民の暮らしの安全の確保を図る。</p> <table border="1" data-bbox="566 1355 1125 1585"> <thead> <tr> <th></th> <th>必要能力</th> <th></th> <th>洞ヶ入池</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">洪水吐の改修</td> <td rowspan="2">計画排水量 (m³/s)</td> <td>現況</td> <td>2.990</td> </tr> <tr> <td>計画</td> <td>6.070</td> </tr> <tr> <td>緊急放流施設の整備</td> <td>放流時間 24h以内</td> <td>新設</td> <td>新設</td> </tr> </tbody> </table> <p>また、決壊した場合に人的被害を与えるおそれのあるため池の防災工事等の推進を目的とした、「防災重点農業用ため池に係る防災工事等の推進に関する特別措置法」に基づき作成する「防災工事等推進計画」に位置付けた事業である。</p>					必要能力		洞ヶ入池	洪水吐の改修	計画排水量 (m ³ /s)	現況	2.990	計画	6.070	緊急放流施設の整備	放流時間 24h以内	新設	新設
		必要能力		洞ヶ入池															
洪水吐の改修	計画排水量 (m ³ /s)	現況	2.990																
		計画	6.070																
緊急放流施設の整備	放流時間 24h以内	新設	新設																
判定	A	<p>A：現状の課題又は将来の予測から事業の必要性がある。</p> <p>B：現状の課題又は将来の予測が十分把握されていない。</p> <p>【理由】</p> <p>底樋の耐震性不足や洪水吐施設の流下能力不足により、ため池決壊の危険性が高いことから、本事業により災害の未然防止を行うことが急務であるため。</p>																	

② 事業の実効性	1) 事業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>2023</th> <th>2024</th> <th>2025</th> <th>2026</th> <th>2027</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">工種 区分</td> <td>調査・設計</td> <td>←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td></td> <td>←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・洪水吐工</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>←→</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・取水施設工</td> <td></td> <td>←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・緊急放流工</td> <td></td> <td></td> <td>←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費（億円）</td> <td colspan="5">2.3</td> <td>2.3</td> </tr> </tbody> </table>								2023	2024	2025	2026	2027	合計	工種 区分	調査・設計	←→						用地補償		←→					工事							・洪水吐工				←→			・取水施設工		←→						・緊急放流工			←→				事業費（億円）		2.3					2.3
			2023	2024	2025	2026	2027	合計																																																											
	工種 区分	調査・設計	←→																																																																
用地補償			←→																																																																
工事																																																																			
・洪水吐工					←→																																																														
・取水施設工			←→																																																																
	・緊急放流工			←→																																																															
事業費（億円）		2.3					2.3																																																												
2) 地元の合意形成	地元からの申請事業であり、事前に地元関係者への説明などを行っており、合意形成は図られている。																																																																		
判定	<p>A A：事業計画の実効性が期待できる。 B：事業計画の実効性が期待できない。</p> <p>【理由】 地元の合意形成が図られており、実効性が期待できる。</p>																																																																		
Ⅲ 対応方針（案）																																																																			
事業実施が妥当である。	事業実施が妥当である。：上記①及び②の評価がすべてA判定であるもの。 事業実施は妥当でない。：上記以外のもの。																																																																		
Ⅳ 事後評価実施の有無と主な評価内容																																																																			
<p>■対象（事業完了後5年目） □対象外</p> <p>【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】</p> <p>—</p> <p>【主な評価内容】</p> <p>事業後の決壊被害の有無を確認</p> <p>※事業完了後5年以内に計画規模と同等の地震及び降雨が発生した場合、その地震及び降雨により評価する。 事業完了後5年以内に計画規模と同等の地震及び降雨が発生しなかった場合は、事業完了後5年間の最大規模の地震及び降雨により評価する。</p>																																																																			